

審議会等の会議結果報告

1 会議名	第7回久居地区地域審議会
2 開催日時	平成25年3月26日(火) 午前10時00分から午後0時10分まで
3 開催場所	久居庁舎3階 301・302会議室
4 出席した者の氏名	(久居地区地域審議会委員) 大幡貞夫、井面三砂、岡みち子、川合和成、川原田義之、倉田年治 佐藤ゆかり、津山峰子、中森堯子、服部孝、浜地明子、森下隆史 (事務局) 地域振興課長兼久居体育館長 澤井尚、地域支援員 紀平正行 同課地域支援担当主幹 岸江一浩、同課地域振興担当主幹 中村哲也 同課主査 堤佳代 教育委員会久居事務所長 高尾明 政策財務部政策課政策担当副主幹 梅本和嗣
5 内容	(1) 津市総合計画後期基本計画(案)について (2) 平成25年度地域かがやきプログラム事業について (3) 平成25年度地域審議会の進め方について (4) その他 ・地域審議会委員の補充について ・久居駅周辺地区のまちづくりビジョンについて
6 公開又は非公開	公開
7 傍聴者の数	1人
8 担当	久居総合支所 地域振興課 地域振興担当 電話 059-255-8819 E-mail 255-8812@city.tsu.lg.jp

・議事の内容 下記のとおり

地域振興課長 みなさん、おはようございます。本日は、お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。ただ今から、第7回久居地区地域審議会を始めさせていただきますと思います。なお本日、柴田委員、清水委員から事前に欠席との連絡をいただいております。

本審議会の情報公開につきましては、委員個人名での掲載とさせていただきますので、御了承いただきますようお願いいたします。

なお本日は、市議会の3月定例会の総務財政委員会が所要日程を延長しておりますので、総合支所長、副総合支所長ともにそちらに出席しておりますので、欠席させていただきます。御容赦いただきしたいと思います。

ということで、本日は、私と「地域かがやきプログラム事業」に係る関係所管課長及び本庁政策課から総合計画策定に係る担当者が出席させていただいておりますので、このメンバーで進めさせていただきますと思います。

それでは、早速ですが、本日の資料を確認させていただきたいと思います。

まず、事前に送らせていただきました資料でございますが、本日の事項1「津市総合計画後期基本計画（案）について」御説明させていただく資料として、

- ・資料1「津市総合計画後期基本計画（案）」
- ・資料2「津市総合計画後期基本計画（案）に対する意見等を踏まえた修正箇所一覧」

そして、事項2「平成25年度地域かがやきプログラム事業について」御説明させていただくための資料として、

- ・資料3「平成25年度当初予算の概要」
- ・資料4-1「平成25年度地域かがやきプログラム事業予算総括表」
- ・資料4-2「H25地域かがやきプログラム事業総括表」

です。

本日お配りさせていただきました資料として、

- ・事項書
- ・資料2-1「各地域審議会から提出された意見・提言（平成24年12月提出）に対する対応一覧」
- ・資料5「平成25年度久居地区地域審議会のスケジュール(案)」
- ・榊原温泉郷地域活性化についてのアンケート（集計結果）
- ・各種イベントチラシ

です。

以上、不足する資料はございませんか。

それでは、事項書に基づきまして会議を進めていただきたいと思います。大幡会長よろしく申し上げます。

議 長 それでは、「地域審議会の設置に関する協議」第9条第5項に基づき、議長を務めさせていただきます。

本日は、12人の出席を頂いておりますので、「地域審議会の設置に関する協議」第9条第4項の規定により、当審議会は成立しておりますこと御報告いたします。

続きまして、本日の会議録の署名委員ですが、前回浜地委員と森下委員にお願いして、一巡しましたので、振り出しに戻って、本日は、岡委員と川合委員のお二人にお願いしたいと思いますので、よろしく申し上げます。

1 津市総合計画後期基本計画（案）について

議 長 それでは、事項に基づきまして、事項1「津市総合計画後期基本計画（案）について」に入らせていただきます。

事務局から説明をお願いします。

地域振興課長

それでは、事項1「津市総合計画後期基本計画（案）について」説明させていただきます。

津市総合計画後期基本計画につきましては、昨年4月13日の地域審議会以降今日まで7回の地域審議会のほか、任意の協議会なり、検討委員会等多数開催していただき、意見・提言の取りまとめをしていただきました。

そして、昨年末には、当審議会からの津市総合計画後期基本計画案に係る意見・提言をお出しいただいたところです。

本日は、昨年10月に後期基本計画（案）をお示しして以降、各地域審議会からの意見・提言や総合計画審議会、パブリックコメント、市議会からの御意見などを踏まえ、修正した案をお示しさせていただいております。この後期基本計画（案）につきましては、現在開会中の市議会の3月定例会に議案として提出させていただいているところです。

なお、後期基本計画（案）につきましては、今までの案の段階でも御説明させていただいておりますことから、当審議会からの意見・提言、あるいは、久居地域に関わる内容等がどのような形で反映されたかを中心に説明させていただきたいと思います。

また、本日は、後期基本計画策定に向けての意見・提言等に対するお礼を申し上げたいということで、本庁政策課から後期基本計画策定に係る担当職員が来ておりますので、一言御報告とお礼をさせていただきたいと思います。

政策課職員

皆さんおはようございます。政策課の梅本です。

一年間貴重な御時間をいただき、また、地域審議会だけではなく、任意の協議会、検討委員会等熱心に御審議いただき、本当にありがとうございました。

9月に計画策定に係る意見・提言をいただいたことにはじまり、計画案に係る意見・提言もおまとめいただき、特に、大幡会長におかれましては、地域審議会で皆様から出された意見やアイデア、その思いをしっかりと津市総合計画審議会にお伝えいただき、審議会でも、それを基に熱心な議論をさせていただいてきました。

後期基本計画（案）につきましては、いま、議会で審議中ではございますが、これが正式に策定ということになりましたら、来年度早々に冊子にまとめさせていただきます。皆様にお届けさせていただきたいと考えておりますのでよろしく願いいたします。

地域振興課長

それでは、お手元の資料1と資料2を使って、修正箇所について説明させていただきます。御意見・御提言に対する反映、成果の御報告ということにさせていただきます。

それでは、資料2「津市総合計画後期基本計画（案）に対する意見等を踏まえた修正箇所一覧」を御覧いただきたいと思います。

当初原案から164項目の修正が入っておりますが、当審議会からの意見・提言関係分について説明させていただきたいと思います。

まず、17ページのNo.50を御覧ください。資料1の本冊では、71ページになりますが、地域審議会から「地域の活動基盤となる各地域の自主防災組織への女性を始めとするあらゆる世代の参画を促進する取組を進められたい。」、「自主防災力の強化に当たっての地域の活動基盤となる各地域の自主防災組織にあっても、多様な意見を活動に反映させていくため、女性を始めとするあらゆる世代の参画を促進する記述の追記を検討していただきたい。」との意見・提言をしていただきました。

そこで、「女性や各世代の多様な意見を反映させ活性化を図ることは重要である。」との観点から、本冊の71ページの「⑤避難所の開設・運営体制の充実」の項目に「・避難所運営委員会の設立に当たっては、女性や各世代の多様な意見を反映できる体制となるよう努めます。」との一文を追記させていただきました。

なお、今回の総合計画では、「防災力の強化」につきましては、重点プログラムにも位置付けをさせていただいておりますので、同様の文章を213, 214ページの重点プログラムにも記述させていただいております。

次に、No.51を御覧いただきたいと思います。これも、先ほどの意見・提言に対する反映分になりますが、本冊では、73ページになります。「(7)自主防災力の強化」「①組織強化」の項目に「・女性や各世代の多様な意見を活動に反映させるため、活動への参画を促進します。」との一文を追記させていただきました。これにつきましても、同様に、重点プログラムにも位置付けをさせていただいておりますので、同様の文章を216ページの重点プログラムにも記述させていただいております。

続きまして、資料2の34ページ、No.114を御覧ください。「第1項 都市機能の整備」「(2)交流拠点の整備」「②副都市核の整備」という施策内容になりますが、副都市核の整備については、前期基本計画から重要な取組として位置付けをさせていただいておりましたが、地域審議会から「ハード面だけでなくソフト面も含めた取組とする記述を検討されたい。」として、「久居駅の東西を含めた当地域の中心市街地の活性化についてハード面だけでなくソフト面も含め今後5カ年において具体的な取組を誘導できる表現を追記していただきたい。」との意見・提言をしていただきましたので、そのことを踏まえ、本冊では、162ページになりますが、「②副都市核の整備」の項目で、「・副都市核として位置づけられる久居駅周辺地区については、本市南部の玄関口として、地域住民や関係団体等の意見を踏まえ、賑わい創出と商業の活性化に資する取組も含め新たな交流と活力を創出する拠点として、賑わい性を高めるための副次的な都市機能の整備を進めます。」と修正させていただいております。これにつきましても、同様に、重点プログラムにも位置付けをさせていただいておりますので、同様の文章を202, 203ページの重点プログラムにも記述させていただいております。

次に、資料2の38ページ、No.131, 132を御覧ください。このことにつきましては、前に説明させていただきましたNo.50, 51と同様、「女性や各世代の多様な意見を反映させ活性化を図ることは重要である。」との観点から、それに関わる修正箇所がございます。本冊では、192ページになりますが、「第

3項 男女共同参画の推進」の項目で、「(1) あらゆる分野での意識啓発」「③ 職員の意識向上と男女共同参加の視点に立った職員の登用」「・職員の意識を向上させるとともに、男女共同参画の視点に立ち職員を登用します。」という記述から、「(1) あらゆる分野での推進」「③各施策と政策・方針決定過程における男女共同参画の推進」一つ目として「・職員の意識向上を図るとともに、各施策における男女共同参画の視点を踏まえた取組を強化します。」二つ目として「・男女共同参画の視点に立ち委員や職員等を登用するなど、政策・方針決定過程における男女共同参画を推進します。」という記述に修正させていただきました。

以上が文言修正に関わる部分でございますが、その他の意見・提言につきましては、資料2-1を御覧いただきたいと思います。

二つ目にあります「市民との対話と連携の推進」の施策内容である「(3) 即答・即応し実現する市役所づくり」について、「総合支所の人員配置に十分配慮しつつ取組を推進していただきたい。」との意見・提言につきましては、「施策の推進にあたっては、御意見を踏まえながら取り組んでまいります。」との方針としております。

四つ目にあります「ワーク・ライフ・バランスの推進」につきまして、「子育て世代だけでなく、あらゆる人たちに、市民一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できることを指すというワーク・ライフ・バランスの考え方の浸透を図りつつ、施策の推進を図るべき。」との意見・提言や、5つ目にあります「地域かがやきプログラム」における施策の推進について、「当審議会から提出した事業リストに基づいた施策の計画的な推進をお願いしたい。」との意見・提言につきましても、「施策の推進にあたっては、いただいた御意見を踏まえ、取り組んでまいります。」とのまとめをしております。

以上が、計画(案)に対する意見等を踏まえた変更箇所の御説明です。

この後期基本計画の最終案が、現在開会中の市議会の3月定例会に議案として提出されておまして、これが可決されますと、4月からこの計画に基づいて、施策の推進を図っていくということになります。

議 長 それでは、議会提出済の計画であり、内容変更等されるものではありませんが、本庁政策課から担当職員の方が来ていただいておりますので、内容の確認、表現の趣旨確認等質問や御意見・御感想などがあれば受けさせていただきますが、いかがでしょうか。

倉田委員 計画は出来ても大事なのは、どういう体制でこの計画を実行していくかということだと思います。例えば、支所の機能強化ということが言われておりますが、どこが変更されて、どこが強化されるのか言えるものがあれば教えていただきたいと思っております。

地域振興課長 支所の機能強化の具体的な内容ということですが、人員配置も含めて、今日のこの席でお話させていただける予定をしておりましたが、まだ内示が出ておりませんので、具体的にどの部署が人員増をされて、どの部署がどのように強化されたかということは申し上げられる状況にありません。ただ、予算の関係で出てきておりますのは、今までから自治会要望とか、地域要望については、生活課に提出していただいて、生活課から南工事事務所や建設関係の所管に改めて依頼を出した上で、事業に取り掛かるということをしておりましたが、平成25年度は、要望の中の大半を占める簡易な修繕に関しては、総合支所長の権限で出来るように「地域インフラ維持・補修事業」の予算を設定させていただいておまして、久居総合支所分として、地域インフラ維持事業費2,000万円、地域インフラ補修事業費200万円を設定させていただいております。

地域インフラ維持事業費につきましては、2,000万円のうち、1,150万円を施設修繕料として、市道の路肩、側溝等の道路修繕、カーブミラー、ガードレール等の交通安全施設修繕、水路、護岸構造物等の河川修繕、広場、遊具、トイレ等の公園修繕を50万円未満の事業費のものについて実施することとしております。残り850万円は、施設等維持管理業務委託料として、施設修繕料に係る事業以外の業者へ依頼する事業費です。

地域インフラ補修事業については、今まで2名の臨時職員が配置されており、地域の公共施設の軽微な維持、修繕を行っておりましたが、4名に増員して一層迅速に対応できるようにすることとしております。

現段階で、予算資料からわかることは以上です。

議 長 ありがとうございます。他に御質問等ありませんか。

議 長 ないようですので、次に進めさせていただきたいと思います。

市当局におかれましては、久居地域には、総合計画審議会に昨年9月に提出した「津市総合計画後期基本計画の策定に係る意見・提言」にあるようなまちづくりの課題があることを踏まえていただき、「久居地域が目指すべき将来像」の実現に向けて最善を尽していただきたいと思います。

また、地域かがやきプログラムについては、昨年12月に提出した「津市総合計画後期基本計画案に係る意見・提言」でお示しした考え方を踏まえていただき、久居地域の個性が輝くよう、それぞれの施策への取組を着実に推進していただきたいと思います。

2 平成25年度地域かがやきプログラム事業について

議 長 続きまして事項2「平成25年度地域かがやきプログラム事業について」に移らせていただきます。

事務局説明をお願いします。

地域振興課長 それでは、事項2「平成25年度地域かがやきプログラム事業について」御説明させていただきます。

御説明に当たりましては、はじめに、平成25年度の津市全体の当初予算の概要を簡単に御説明させていただき、次に、その中に含まれます当地域の特筆される予算について御紹介させていただき、最後に地域かがやきプログラムの概要を御説明させていただきたいと思います。

それではまず、資料3「平成25年度当初予算の概要」を御覧いただきたいと思います。

この資料につきましては、当初予算書をもとに、予算概要を掻い摘んでまとめさせていただいたものです。1ページを御覧ください。

「予算編成におけるポイント」ということで、「対話・前進・決断」3つのテーマのもと進める市民の暮らしづくり予算」とさせていただいております。

平成25年度当初予算につきましては、「津市総合計画後期基本計画のスタートとして「即答・即応し実現する市役所づくり」を目指した「対話の市政」、4大プロジェクトなど必要な事業を着実に進める「前進する市政」、懸案を先送りしない「決断する市政」を基本に施策の確かな実現を図っていくことから、一般会計当初予算額1,059億8千万円（前年度比5.7%増）規模で編成」をさせていただいております。

4大プロジェクトにつきましては、6ページの《歳出》の欄を御覧いただきたいと思いますが、(仮称)津市産業・スポーツセンター、新斎場、新最終処分場・リサイクルセンターの整備事業、名松線復旧・利活用事業の4つです。

予算の特徴としましては、「市民の皆さんが安心して暮らしていただけるよう、昨年度に引き続き災害対応力強化集中年間の取り組みとして、防災対策事業の充実や市民の皆さんに御利用いただく(仮称)津市産業・スポーツセンター、新斎場、新最終処分場・リサイクルセンターの整備を図ります。また、懸案事項としての久居駅周辺地区まちづくり事業や(仮称)津市美杉総合文化センターの整備等を推進するために、普通建設事業費が、153億円（前年比47.1%増）と大幅増となりました。

以前、総合計画の勉強会で財政フレームのお話をさせていただいた際に、本市の場合、「予算額の概ね1割を普通建設事業費に当てさせていただいております。」と御説明させていただいたかと思いますが、平成25年度は、前年比47.1%増の153億円ということですので、「積極投資」といえるかと思いますが。

2ページの中段を御覧いただきたいと思います。

先ほども御説明させていただきましたが、『市民の心をつなぐ』取り組みといたしまして「★地域課題への対応」「地域インフラ維持・補修事業」といたしまして、本庁及び各総合支所分を含めまして、156,000千円の予算を見込んでおります。

平成25年度予算といたしましては、1,059億8千万円（前年比5.7%増）で、その中で、特に普通建設事業費が153億円で47.1%増になったと

ということが特色でございます。

続きまして、12ページを御覧ください。

久居駅周辺地区まちづくり事業につきましては、いままでにも、御意見を頂戴したり、検討経過を御紹介させていただいたりしておりますが、簡単に御説明させていただきたいと思っております。

久居駅周辺地区まちづくり事業といたしまして、「1 ポルタ久居再生整備事業」、「2 (仮称)久居ホール整備事業」、「3 久居駅東口公園広場等整備事業」ということにまとめさせていただいております。

前回の地域審議会協議会で、御意見をいただきました際には、プランA、プランBということで説明させていただきましたが、最終的にプランBを基本として、事業を進めるための平成25年度当初予算として、今回の議会にお示しをさせていただいております。

具体的には、ポルタひさいのフロアを買い取りまして、久居総合支所機能、保健センター、津南工事事務所を移して、駅東は、公園、駐車場を整備することとしています。また、現在の総合支所のところには、(仮称)久居ホール整備事業として、今後関係団体の協力を得ながら整備計画の策定をして、その後具体の整備を進めていくこととしております。

詳細につきましては、「1 ポルタ久居再生整備事業」が、庁舎等維持管理事業として46,413千円、これは、ポルタひさい取得後の維持管理費でございます。そして、庁舎等整備事業として680,222千円、これは、主にポルタひさいの床の取得費用でございます。3つ目に放置自転車管理事業として13,914千円、これは、ポルタひさい駐輪場の取得費と取得後の維持管理費でございます。それと、償還元金として、100,000千円、これは、地方公共団体保留床取得資金貸付金の繰上償還金でございます。あと企業会計の部分で、駐車場事業会計がございまして、これは、ポルタひさいの駐車場を取得後、アストとかセンターパレスにある市営駐車場のようになら今後市直営で運営していくために、ポルタひさい駐車場の取得費と取得後の維持管理費ということで、449,820千円でございます。

「2 (仮称)久居ホール整備事業」につきましては、文化振興事業といたしまして8,190千円でございます。こちらは、(仮称)久居ホール整備基本計画の策定ということで、今としては、市民活動支援施設等もあわせたものを考えており、ホール、ギャラリー、展示スペースなどをはじめ、今のポルタひさいにあります市民ふれあいセンターのようなものを設けて、住民票の交付などの市民サービスが受けられるようなことも必要ではないかということもありまして、このようなことも含めたホールの整備計画をつくるための予算でございます。

「3 久居駅東口公園広場等整備事業」につきましては、土木総務関係事業といたしまして、11,918千円でございます。これは、久居駅東口公園広場等整備基本計画として整備の概要づくりということでございます。なお、「※参考久居駅東口公園広場等整備関連事業といたしまして、2,848千円、これは、「久居駅東口周辺における防衛省との用地交換に向けた土壌汚染調査等」とあります

が、久居駅東口の事業につきましては、隣接する自衛隊との用地交換をすることで用地の確保を図ることとしていますが、そのためには、県の環境基本条例に基づいて、土壌汚染調査をする必要があるということから、そのための費用です。

ということで、これらを全部足しますと、久居駅周辺地区まちづくり事業の予算といたしまして、13億1,332万5千円ということになりますが、大半を占めるのは、庁舎部分と駐車場部分の公有財産の購入費となります。

なお、翌年度以降のランニングコストにつきましては、ポルタのテナントの賃料収入が見込めることから、単独で現在の場所で庁舎を維持管理していくよりは安価になると考えております。

以上、総合計画にもございましたが、副都市核の整備という部分も含めて、このような事業に取り組んでいきたいと考えておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

次に、地域かがやきプログラム事業でございますが、資料4-1を御覧いただきたいと思っております。

ここにある予算額とは、個々の事業の総事業費の見積額でございますが、財源内訳にある網掛けの部分の補助金と委託料が市の予算ということになります。

委託事業につきましては、一般的に自主財源とか協賛金などはありませんが、補助事業につきましては、会費やマラソン大会の参加費などの自主財源や協賛金といったものがあります。

例えば、東部エリアのサマーフェスティンひさい事業であります、市の補助金1,000万円のほか、自治会、企業などからの協賛金460万円、前年度からの繰越金85万8千円で総額1,545万8千円の事業をしようということです。

ということで、東部エリアにつきましては、「サマーフェスティンひさい事業」、「久居まつり事業」、「鉄道で巡るおもてなしルート設定事業」の3事業で、市の予算ベースで、1,780万9千円になります。中部エリアにつきましては、「活力ある温泉ゾーン形成事業」といたしまして、「湯の瀬フラワーガーデン整備事業」と「花街道景観整備事業」のほか、「榊原温泉マラソン大会事業」、「榊原温泉ふれあいの郷イベント事業」、「久居地域づくり活動支援事業」の4事業で、市の予算ベースで、補助金700万円と委託料200万円で合わせて900万円となり、東部エリアと中部エリアあわせた久居地域全体で2,680万9千円になります。

以上が、平成25年度の事業概要になります。内容につきましては、事業評価等で御審議いただいております、御案内のことと思っておりますので、省略をさせていただきますが、結果としてほぼ従前どおりの予算内容となっております。なお、昨年12月に提出していただきました御意見・御提言で、新規提案事業として、御提案いただいた事業については、予算化に向けて協議をさせていただきましたが、私どもの力不足もありまして、予算化には至りませんでしたので、進捗状況だけ御報告させていただきたいと思っております。

「久居灯音彩～ハチ公前のキャンドルナイト～」につきましては、他に補助事業を探しまして、実施すべく今申請中でございます。

「ふれあいこどもまつり事業」につきましては、久居まつりの際の久居駅周辺の賑わい創出の一助として、緑の風公園での実施を検討中でございます。

「男女共同参画のまちづくりモデル事業」につきましては、津市全体の事業として捉え、男女共同参画室主導で今後実施に向けて検討を進めてまいります。

「榊原温泉郷地域活性化計画策定事業」につきましては、榊原温泉郷地域活性化検討会で（仮称）榊原未来会議を立ち上げて、今後検討していくということで進めさせていただいております、その関係資料がお配りさせていただいておりますので、折角の機会ですので、その取組についての進捗状況を御説明させていただきたいと思います。

お手元の資料「榊原温泉郷地域活性化についてのアンケート（集計結果）」を御覧いただきたいと思います。

この資料は、本日発送で、榊原地域の自治会にも回覧をさせていただく予定ですが、これは、1ページの囲みを見ていただきますと、「平成23年度から、「榊原温泉郷地域活性化検討会」を立ち上げ、地域、温泉旅館、行政が一体となり当地域及び温泉旅館の活性化に向けた方向性の話し合いを続けてきました。このたび、榊原地域にお住まいの方から地域活性化についての考えやアイデアを広く聞かせていただくために榊原地域全世帯へのアンケートを実施しましたので、その概要をお知らせします。」ということで、昨年11月に榊原地域の全世帯618世帯に御協力いただきまして、366世帯から回答をいただきました。回収率が59.2%でございまして、一般のアンケート調査と比較して非常に高い回収率でございまして、このことから、地域の方の榊原地域の活性化に対する意気込みがあるのかなと思います。

1ページから3ページにつきましては、一般的な回答された方の構成状況ですが、2ページ問3の年齢層を見ていただきますと、40歳以上の方が多い地域ということが分かります。また、4ページの問7を見ていただきますと、「今後も住み続けたいと思う」というのが約4分の3あり、住み続けたいと思う理由が、「生まれ育った地で住み慣れている」とか、「豊かな自然がある」、「家、田、畑、山林等がある」ということで、主な記述内容も入れさせていただくよう形でまとめさせていただきました。

5ページ以降が回答内容の要約でございますが、問8で「榊原の将来像について」おたずねしましたところ、一番多かったのが、「自然豊かな里山を残した地域になって欲しい」で、二番目が「もっと賑やかな観光地になって欲しい」という御意見でした。

そして、6ページの間9で「かつての賑いを取り戻すためにはどうすればよいと思うか」をおたずねしましたところ、意見の多い順では、「旅館経営者がもっと努力をすべき」、「行政がもっと支援をすべき」、「地域もイベントなどを開催し応援すべき」ということになってはいますが、この3つが一体で取り組みを進めていく必要があるということだと思います。7ページの間10では、「地域を活性化するための取組としてどのようなことが考えられるか」をおたずねしたところ、多い順に「湯の瀬周辺を整備する」、「温泉街に遊歩道や駐車場を整備する」、「農

業を中心とした体験型観光などの施設整備」、「空き家などを利用して都会の人に住んでもらう」ということでした。

もう一つ、このアンケートの特色として、記述欄の意見をたくさん頂戴することができましたが、あまりにも多くの意見がありましたので、主な意見ということでまとめさせていただきました。

当審議会の評価と関係するような箇所がいくつかありまして、12ページの間15以降、地域かがやきプログラム事業として取り組んでいただいているものも含め、榊原地域で行われております各種行事について、どのように思っているかをおたずねしました。

ということで、基礎資料としてのアンケートの集計ができましたので、お手元にチラシをお配りさせていただいてありますが、榊原町のおおむね20歳から50歳の20人程度の方に参加していただき、若手・中堅住民によるプロジェクトチーム（仮称）榊原未来会議を立ち上げて、1年をかけて、「榊原温泉郷地域活性化アクションプラン」づくりをしていただければと考えておりまして、アドバイザーとして三重短期大学の先生に御協力いただくことになっております。

過去、昭和50年代から何度も榊原地域活性化の計画はありましたが、アンケートの結果を見ますと、皆さんが地域活性化に大変思いがあるということが感じられますので、今回の切り口といたしましては、（仮称）榊原未来会議の参加者を公募させていただいて、地域の皆さんが自ら考え行動するための計画づくりをしていただいております。

少し長くなりましたが、以上が、平成25年度予算並びに地域かがやきプログラム事業の概要と榊原地域活性化に向けた取組についての進捗状況の説明です。

議長 それでは、「地域かがやきプログラム事業について」質問や御意見などがあれば受けさせていただきたいと思っておりますので、挙手をお願いします。

中森委員 今、御説明いただいた地域かがやきプログラム事業は、後期基本計画での事業であって、新たに事業を提案することはできないのでしょうか。

地域振興課長 平成25年度は、これらの事業を実施したいと考えております。
平成26年度以降につきましては、次の事項のところでも相談させていただきたいと考えておりますが、地域審議会では平成25年度の事業評価をしていただくこととなりますので、その評価の中で、御提案いただいて次に反映させるということになると考えています。

佐藤委員 榊原のアンケートと未来会議について感想を言わせていただきたいと思います。
先ほどアンケートの回収率が非常に高いということをおっしゃっていただきましたが、確かに市や県に比べて高いと思います。しかし、市や県がアンケート調査をするときには個人名で配布しますが、このアンケートは世帯に対して配布していますので、男性の回答者が多いとか、年齢も親世帯で高齢になることがあると思

いますので、性別や年齢の傾向は、一概に判断できないのではないかと思います。

このことを踏まえて、未来会議については、20歳から50歳以下の方に募集をかけていますが、果たしてこのアンケートの存在をその年代の方々が知っているのか心配されます。

親世帯に任せて、地域のことにあまり参加しなかった若手・中堅の方で、このような会議ができることは非常に良いことだと思いますが、久居総合支所地域振興課や榊原出張所でも呼びかけていただいて女性を3割以上参加させていただくようお願いしたいと思います。

地域振興課長 世帯単位でアンケートを行ったというのは、無作為抽出で個人名で配布させていただくと多くの方に無視されることが考えられますが、世帯単位で配布させていただくことにより回収率を上げようということを意図しておりまして、記述欄の筆跡を見ても、回答者の属性は、世帯主であっても、実際には世帯の中堅、若手の方が記入していただいているのではないかと考えております。また女性比率についても、できれば半々程度にできればいいと思っております。そして、私自身もこの会議に出させていただきたいと考えております。

川原田委員 平成25年度の久居まつりについて質問と要望を言わせていただきたいと思います。

久居まつりは、二ノ町を中心に毎年賑やかにやっているわけですが、平成25年度の計画書に「久居駅周辺の商店街を会場とした…」とありますが、周辺のエリアというのはどこを指すのでしょうか。といいますのは、駅周辺の自治会長からこのことについてほとんど聞くことがありませんので、地域振興課が考えているのか、市民の各種団体で構成する実行委員会があるのかわかりませんが、駅周辺の自治会長と久居まつりについてどの程度協議をしているのかお伺いしたいと思います。

地域振興課長 久居まつりについては実行委員会形式で行っていただいておりますが、御指摘のような地元の自治会に事前にきちんと話ができているかというのは、平成25年度についてはできていないと思いますので、実行委員会からになるのか、市かになるのか分かりませんが、何らかの形で、自治会長に伝えるように調整をさせていただきたいと思います。

平成25年度の開催場所の計画といたしましては、従来の二ノ町、本町の春・秋まつり、駅東のハチ公まつり、そして、久居版仮装大笑につきましては、久居市民会館の老朽化により休館させていただきましたので、会場を移転して、白山総合文化センターで開催していただくということで、現在実行委員会で調整をいただいております。

本日は、担当の産業振興担当副参事が、他の会議で欠席させていただいておりますが、御指摘のことにつきましても、周辺自治会の方に御協力いただけるよう進めるように伝えさせていただきたいと思います。

川原田委員 今日、御説明いただいた内容を、私の立場で周辺の自治会の会議でお話をさせていただいても、「そんなまつりどこでやっとなんや」ということになりますので、この計画書を見るとすでにかなり進んでいるように思いますし、以前にも実行委員会からお誘いがあったんですが、当初から巻き込んでいただかないと困るということでお断りした経緯がありますので、よろしくをお願いします。

議長 他にどなたか、質問とか、わからないこととか、これは聞いておきたいというようなことがありましたらお願いします。

中森委員 以前の審議会で、サマーフェスティンひさい事業に対して、近鉄からの協賛金はないということでしたが、今年も協賛金の依頼はしないのですか。

地域振興課長 協賛金をお願いする時期にはまだ早いですので、依頼してはいないと思いますが、6月頃になると思います。平成24年度も多くの協賛金がいただけたということを知っていますので、そこを含めて、お願いしたいと思います。

倉田委員 秋の津まつりでも感じたことなのですが、近鉄に対しては、協賛金をお願いするというよりも、近鉄を利用する来場者が駅ホームや構内に多くなりますので、安全対策を要望したほうが良いのではないかと考えております。

去年の秋の津まつりの際には、駅ホームや構内に人があふれて、切符を買う人の行列ができていながらもかわらず、駅の配員が通常と変わらなかったように思いましたので、安全対策などの協力要請をしていくことも大事ではないかと思えます。実行委員会への提言をしていただけたらと思います。

森下委員 私自身、「久居まつり」というのは、昔の10月10日の秋に行われる祭りを描いてしまいましたが、ここで言う「久居まつり」というのは、久居で行われる祭り全体という認識でよろしいのでしょうか。

といいますのは、春と秋のまつりがある、駅東のキャンドルナイトがある、そして、久居版仮装大衆があるということでしたが、これらすべてが「久居まつり」予算なのでしょうか。

もう一つは、近鉄への協力要請の話がありましたが、観光ガイドの立場で感じているところがあります。というのは、近鉄が開催する、久居地域のウォーキングイベントがありますが、油正がらみのウォーキングで約1,200人、風早の里を絡めたウォーキングで約750人の参加者があります。

この方たちに久居の土産を買ってもらいたいとの思いがありますが、お客さんには、もっと安全なコースを歩いていただきたいということで、二ノ町商店街といいますが、野辺野神社の前を通るコースが組まれておりません。

ある商店の方が、うちの前を通っていただけるとっておもてなしを準備していたけれどコースから外れていたのが空振りになってしまったということを知

ました。

行政で近鉄と話すことがありましたら、できるだけこのようなことも考慮したコース作りをしていただくようお願いしていただきたいと思います。

地域振興課長 コースづくりについては、そのような機会があるかどうか分かりませんが、機会がありましたら、そのような意見があるということはお伝えしたいと思います。

もう一つの「久居まつり」に関しましては、資料4-1の久居まつり事業の事業計画書の裏面を御覧いただきたいと思います。

現状では、八幡さんのお祭りなのか、久居地域全体のイベントなのかということはやや曖昧ではありますが、「1目標設定」のところに「久居駅周辺の商店街を会場としたイベント」とありますが、新町周辺は抜けており、二ノ町、本町の祭りになっています。

そのことについては、実行委員会で行っていただいておりますが、やはり、旧来からの二ノ町、本町周辺の祭りの部分が強いように思います。

以前の久居まつりは、八幡さんの祭りで、商工観光課が所管しておりましたが、市制20周年の時の記念イベントとして、企画課の所管で、宗教色のない、市民イベントとしての市民ふれあいフェスティバルが始まり、10年間ほど2本立てで行われておりました。これを、合併を機に1つの祭りにしたことで、位置付けが曖昧になったように思いますが、氏神さんの祭りということは行政として関わりづらいということでこのような位置付けになったと思います。

対象エリアをどうするかということは、実行委員会でも検討いただいたようですが、現状、二ノ町、本町ははずせないということになったように聞いております。

ということで、久居地域全体のイベントという看板を掲げるのはどうかとも思います。

森下委員 個人的には、「まつり」というのは、「収穫を願う」、「収穫を祝う」というのが「まつり」の起源だと思います。

市民ふれあいフェスティバルでは全市を上げての祭りだったように思いますが、いつの間にかそのようなものがなくなっていったように思います。

祭りに関して、一月ほど前に久居図書館から電話がありまして、誠之小学校の4年生だと思いますが、「久居の祭りについて家で聞いてきなさいという宿題が出されたので図書館に調べに来たけれども、久居まつり単体のことなのか、久居地域全体の祭りのことなのかかわからないので対応に苦慮している。」とのことでした。

私は、合併前の4年生の副読本に何か載っているのではないかと申し上げましたが、一般の方でも、久居の祭りといって何を捉えればいいのか分からないということもあるかと思うので、一度、久居の祭りについても今までの歴史などを踏まえた整理をする必要があるように思いました。

3 平成25年度地域審議会の進め方について

議長 続きます。事項3「平成25年度地域審議会の進め方について」に移らせていただきます。

事務局説明をお願いします。

地域振興課長 それでは、事項3「平成25年度地域審議会の進め方について」御説明させていただきます。資料5を御覧ください。

本年度は、後期基本計画の策定に係る意見・提言の取りまとめ等がありましたので、検討委員会や地域審議会のほか任意の協議会など数多くお願いしましたが、来年度の地域審議会は、5回の予算になり、また検討委員会につきましては位置づけはありますが予算がなくなりましたので、来年度の開催をどうするかお伺いしたいと思います。

来年度は、任期2年の2年目に当たりますので、事務局の都合もありますが、早期に地域審議会の意見を取りまとめ、平成26年度予算への反映や、時期地域審議会委員の選任に向けた準備ができればと考えています。

スケジュールとしては、4月末には、平成24年度の各事業の精算等が終わると思いますので、5月中旬ごろに1回目の地域審議会を開催させていただき、平成24年度地域かがやきプログラム事業の実績報告させていただき、ここでは、7月下旬とさせていただきますが、うまくいけば、事業評価もできるのではないかなと考えています。そして、7月下旬には、平成24年度地域かがやきプログラム事業に関する意見・提案についてまとめていただきたいと考えております。

9月の上旬に、3回目を開催させていただき、平成24年度地域かがやきプログラム事業の評価案について御審議いただくこととしておりますが、これは、各地域審議会ですべて統一した基準での評価が必要になりますので、10月下旬の審議会も含め、その仕上げをさせていただきたいと思っております。

そして、9月か10月ぐらいまでに、来年度以降の地域かがやきプログラム事業に向けて、総合計画審議会にお出しいただいた意見・提言による検証をしていただき、検証結果と追加の意見を予算要求、予算審議に間に合わせたいと考えています。

12月については、平成25年度地域かがやきプログラム事業の進捗状況と次期地域審議会への引継事項について御審議いただければと考えておりますが、任期2年目で、次期平成26、27年度をもって地域審議会設置の10年が終わるということですので、地域審議会の設置のあり方をどうするかということはまだ全体の議論にはなっていませんが、より良い地域づくりを進めていくためにはどうすればよいのかといったことについても今後御検討いただくことになるのではないかなということで入れさせていただきました。

1月以降につきましては、皆様方は、現状の委員ですので、選出区分をどうす

るということがあるにしろ、次期の委員の推薦をお願いすることになるかと思いますが、事務局として、公募の委員の募集、各種団体への次期委員の推薦依頼など、次期委員の選任作業に取り掛かりたいと思います。

なお、西田陸太氏が昨年亡くなられたため、現在1名欠員で、関係団体に人選をお願いしておりますが、年度途中ということもありまして、いまだに適任者の推薦に至っていない状況です。事務局としましては、スポーツ関係団体をお願いしておりますが、適任の方が御推薦いただけるまでは、欠員でもやむをえないのではないかと考えておりまして、来年度もこのまま進めさせていただきたいと思っております。

以上が、事務局で考えさせていただきましたスケジュール案ですので、進め方なり、内容なり御意見いただきたいと思っております。

議長　それでは、「平成25年度地域審議会の進め方について」質問や御意見などがあれば受けさせていただきたいと思っておりますので、挙手をお願いします。

佐藤委員　検討委員会の予算がなくなったということですが、本年度は、基本計画の策定といった大きな事業がありましたので、検討委員会が必要だったとは思いますが、新年度は、地域かがやきプログラム事業の評価が主な審議事項になってきますので、検討委員会が必要かどうかということと、もし必要ということであれば、西田委員の1名分が欠員になっておりますので、その補充も必要になりますがいかがでしょうか。

議長　事務局の考えはいかがでしょうか。

地域振興課長　御指摘のとおり、来年度の地域審議会は、評価が中心になりますので、あえて検討委員会を開催していただく局面はないのかなと思っております。正・副会長には、事前に資料説明等お願いさせていただくようなことで検討委員会は開催しない方向で進めさせていただければと考えています。ただ、臨時的に大きな課題、事項があったときには、その都度御相談させていただいていただきますが、事前相談は、正・副会長させていただき、あとは全体会議で進めさせていただければと思っております。

議長　他に何かございませんか。平成25年度いろいろな事業が行われますので、皆さんお忙しいとは思いますが、参加までは行かなくても、それぞれの事業を自分の目で見ていただきたいと思っております。

倉田委員　平成25年度のスケジュール（案）をいただきましたが、同様の平成24年度の開催実績をまとめたものはないのでしょうか。あればいただきたいのですが。

地域振興課長　議会对応のために準備したものがありますので、写しをお渡しさせていただきます。

ます。

中 森 委 員 地域審議会ですらいろいろと議論し、意見・提言やアイデアを出ささせていただきますが、それだけのように思いますが、それでも地域審議会は、続けなければいけないのでしょうか。できれば、もう少し権限のあるものにならないのでしょうか。

地域振興課長 外部委員の限界というのがありまして、事業に対して外部評価を加えるという立場であって、委員の皆さんが実行主体ではありません。ですから、意見をお出しただいても、何かの事業をやろうと行って、直接それに参画していただいて、自分たちで活動していただくといったものではありませんので、そのような思いはあると思います。

このことは、スケジュール（案）の御説明のときにも申し上げましたが、今後のあり方にも関わることなんです。今の地域審議会の地位のまま、実行主体として実行委員会や協議会のような活動に踏み込んでいいのかというと、今の位置付けではできません。ですが、10年経って位置付けが外れて、任意に協議会を立ち上げましょうということになれば、そういうことができるものをつくることもできると思います。

一例を申し上げますと、小学校区とか中学校区単位で、地域協議会やまちづくり協議会のようなものをつくって、予算をどのように確保するのかが問題ですが、予算をどのように使って、どのようなまちづくりをするか協議をしていただき、自らが実行していただくというものがあるんですが、現在の地域審議会はそのような形式にはなっていません。現状では、平成24年度にも御意見をいただきましたが、実行委員会との意見交換会まではできると思います。

森 下 委 員 地域生活情報誌「つうぴーす」の4月1日号の表紙と巻頭に、久居城下案内人の会の記事が掲載されますので御覧いただきたいと思います。

6月15日付の百五銀行さんから発行されている「すばらしきみえ」には、三重を歩こうということで、久居の名所旧跡と久居城下案内人の会の記事が掲載されます。

佐 藤 委 員 今年度は、評価のヒアリングの際に、市の各担当者の方に来ていただきましたが、新年度は、実行委員会の方に来ていただければどうでしょうか。

地域振興課長 評価の仕方については、全体の共通事項と久居独自の特色事項にまとめていこうと考えておりますので、その際には御意見をいただきたいと思っておりますが、全部の実行委員会の方にお越しいただくのは、難しいと思いますので、実現できる範囲になると思います。

議 長 ありがとうございます。それでは、ポルタひさいの件に関しましては、予算の説明の際に触れさせていただきましたので割愛することとして、全体を通じて、

本日の議題以外でも結構ですので、御意見などあれば挙手をお願いします。

倉田委員 ポルタひさいの件に関しましては、おおむね理解できましたが、市民ホールをはじめとする各種施設の年度別のスケジュールはどのようになっているのでしょうか。

地域振興課長 議会で承認されてからという前提はありますが、ポルタの床を取得させていただいて、取得後25年度中に改修のための設計を行います。そして、平成26年度に具体的な工事に入りまして、年末年始で引っ越して、平成27年1月のオープンになるのかなと思っております。市民ホールの関係は、それと平行して、各関係団体の方から御意見を頂戴して、平成25年度に文化振興課で取りまとめをして、それを踏まえて平成26年度に設計をして、平成27年度ぐらいに工事に着手して、平成28年度末ぐらいにできるのかなと思っております。

このことについては、事前に送らせていただきました「久居駅周辺地区のまちづくりビジョンについて」という資料の2ページにも書いてありますので、また見ておいてください。

議長 本日の事項はすべて終了しました。
以上をもちまして第7回久居地区地域審議会を閉会します。
本日は長時間にわたり、ありがとうございました。
次年度もよろしくをお願いします。

午後 0時 10分 閉会